

後10時半ごろ帰着する。参加費は4000円。35人以上の参加が必要で、人数が満たない場合は中止する。
作業のできる服装、着替えを各自用意する。申し込み、問い合わせは桐生市社会福祉協議会(☎0277・46・4165)へ。

団体のメンバー

支援

東日本大震災関連

暮らし

バンジーの苗は、ふやし隊が大泉高の協力を得て種から育てたもの。児童と一緒に苗を植え付けたメンバーの

掲げる同市は震災後、同町に花を贈る活動を続けており、今回で4回目。初めて市民ボランティア「花緑ふやし隊」のメンバーも参加した。

方方法とを記したガイドブックを作成した。大事に育てると約束してくれて、うれしい」と交

民間企業から寄贈された、停電が起きてから10秒で発電する発電機や、排せつ物を固めて燃えるごみにできる携帯トイレを見学した。

停電時、手で発電して飲み物を取り出せる自動販売機の使い方

多胡大輝君(12)は「最先端で驚いた。多くの人のために役立ってほしい」と話していた。

寺はことし5月、市内では初となる民間の避難所に指定された。住民への周知のため、同市第13区が初めて行った。

最先端の防災設備を見学する参加者



給出 検査 県教 校計 食材を 射性セ ねな だ。調 が茨城 ーム、 のニ

最先端発電機や携帯トイレ見学

高崎・仁叟寺 住民防災訓練

高崎市指定避難所になった同市吉井町の仁叟寺で、地元住民が防災訓練を行った。子どもから大人まで約90人が、施設見学や心肺蘇生法の実習を通し、災害時の対応を確認した。

渡辺啓司住職が、災害時には本堂など畳敷きの建物を開放することを説明。参加者は、避難所の指定を受けて民間企業から寄贈された、停電が起きてから10秒で発電する発電機や、排せつ物を固めて燃えるごみにできる携帯トイレを見学した。

停電時、手で発電して飲み物を取り出せる自動販売機の使い方も紹介され、多胡大輝君(12)は「最先端で驚いた。多くの人のために役立ってほしい」と話していた。

寺はことし5月、市内では初となる民間の避難所に指定された。住民への周知のため、同市第13区が初めて行った。